

京都大学 1970年 入学試験 理系数学 問題3

問題

空間に2直線  $l, g$  がある.

$l, g$  の上にそれぞれ3点  $A_1, A_2, A_3; B_1, B_2, B_3$  が  
この順にあつて,  $A_1A_2 = B_1B_2, A_2A_3 = B_2B_3$  であるとする.  
線分  $A_1B_1, A_2B_2, A_3B_3$  の中点を  
それぞれ  $M_1, M_2, M_3$  とするとき,  
3点  $M_1, M_2, M_3$  は同一直線の上にあることを証明せよ.

解答

点  $A_1$  と点  $A_2$  が同一である場合

定義より  $\overline{B_1B_2} = 0$

よつて、点  $B_1$  と点  $B_2$  が同一

したがつて、 $M_1, M_2$  は同一の点となり、 $M_3$  がどこにあつたとしても  
 $M_1$  と  $M_3$  を結ぶ直線上に3点  $M_1, M_2, M_3$  はある。

点  $A_1$  と点  $A_2$  が同一ではない場合

原点を適当な場所にとつてそれを  $O$  とする

$k = (1, 2, 3)$  において

$$\vec{a}_k = \overrightarrow{OA_k} \quad \vec{b}_k = \overrightarrow{OB_k} \quad \vec{m}_k = \overrightarrow{OM_k}$$

と定義する。

定義から

$$\vec{m}_k = \frac{\vec{a}_k + \vec{b}_k}{2}$$

また  $A_1, A_2, A_3$  はこの順で直線上にあるので

$$\vec{a}_3 - \vec{a}_1 = t(\vec{a}_2 - \vec{a}_1) \text{ となる。}$$

$$t \text{ は } \overline{A_1A_3}/\overline{A_1A_2}$$

(点  $A_1$  と点  $A_2$  が同一ではないので分母は0ではない)

同様に  $\vec{b}_3 - \vec{b}_1 = s(\vec{b}_2 - \vec{b}_1)$  となるが

$$s = \overline{B_1B_3}/\overline{B_1B_2} \text{ となり}$$

$$B_1B_3 = B_1B_2 + B_2B_3$$

$$B_1B_2 = A_1A_2$$

$$B_2B_3 = A_2A_3$$

から  $s = t$  となり

$$\vec{b}_3 - \vec{b}_1 = t(\vec{b}_2 - \vec{b}_1) \text{ となる。}$$

$$\begin{aligned} \vec{m}_2 - \vec{m}_1 &= \frac{\vec{a}_2 + \vec{b}_2}{2} - \frac{\vec{a}_1 + \vec{b}_1}{2} \\ &= \frac{\vec{a}_2 - \vec{a}_1 + \vec{b}_2 - \vec{b}_1}{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\vec{m}_3 - \vec{m}_1 &= \frac{\vec{a}_3 + \vec{b}_3}{2} - \frac{\vec{a}_1 + \vec{b}_1}{2} \\ &= \frac{\vec{a}_3 - \vec{a}_1 + \vec{b}_3 - \vec{b}_1}{2}\end{aligned}$$

したがって

$$\begin{aligned}\vec{m}_3 - \vec{m}_1 &= \frac{\vec{a}_3 + \vec{b}_3}{2} - \frac{\vec{a}_1 + \vec{b}_1}{2} \\ &= \frac{t(\vec{a}_2 - \vec{a}_1) + t(\vec{b}_2 - \vec{b}_1)}{2} \\ &= t \frac{\vec{a}_2 - \vec{a}_1 + \vec{b}_2 - \vec{b}_1}{2} \\ &= t(\vec{m}_2 - \vec{m}_1)\end{aligned}$$

よって

$$\vec{m}_3 - \vec{m}_1 = t(\vec{m}_2 - \vec{m}_1)$$

よって点  $M_1, M_2, M_3$  の3点は同一直線上にある。